



大陸性気団の影響を受けた モニタリングステーションの範囲について

(第164回 女川原子力発電所環境保全監視協議会委員コメント回答)

2023年8月31日

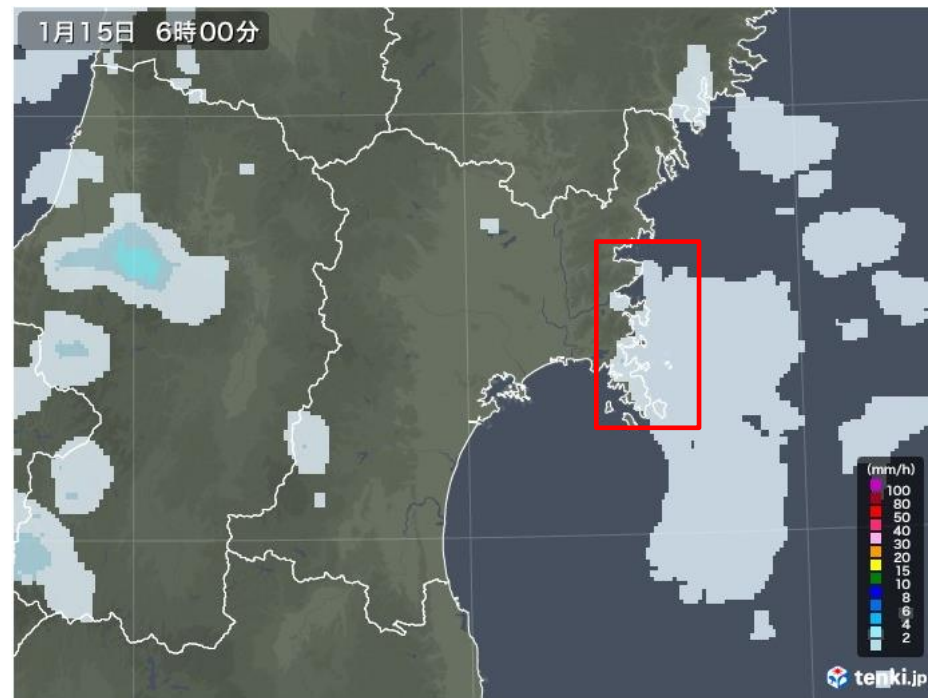
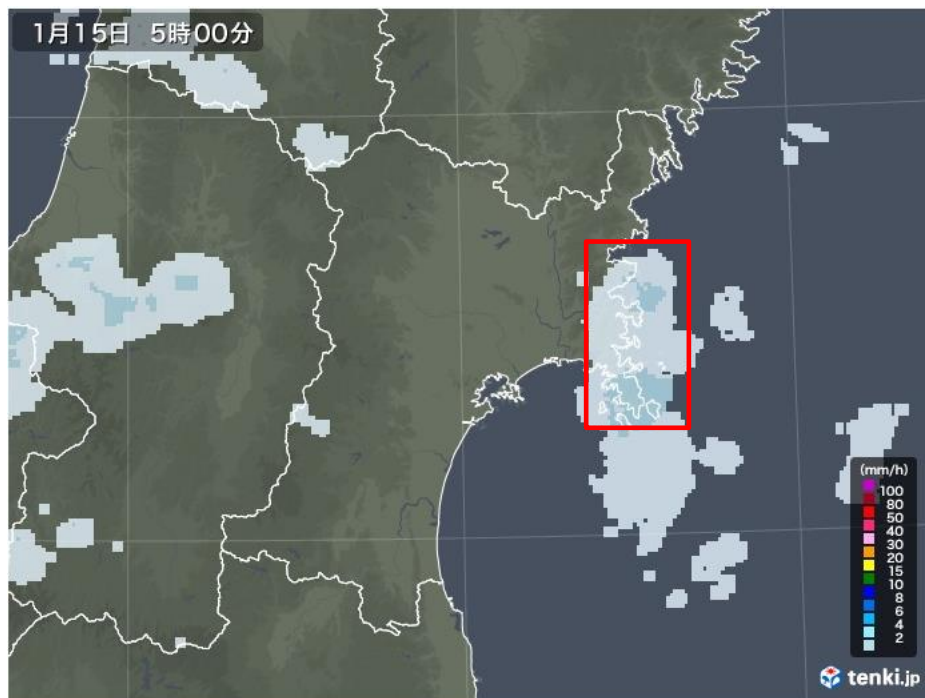
東北電力株式会社

説明概要

- 第164回女川原子力発電所環境保全監視協議会(2023年5月25日開催)において、2023年1月15日に、大陸由来の天然放射性核種を含む気団(大陸性気団)の影響により、モニタリングステーション寺間局、前網局の空間ガンマ線量率(電離箱検出器)が大きく上昇したことについて説明した。
- その際、「2023年1月15日に大陸性気団の影響を受けたのはどの位の範囲なのか教えていただきたい」とのご意見をいただいたため、これに回答するもの。
- 線量率が大きく上昇した2023年1月15日5:00~6:00付近の宮城県内の天気図および各モニタリングステーションのトレンドグラフ、ならびに宮城県外の状況を確認することで、大陸性気団の影響を大きく受けたと推定される範囲を推定した。

線量率上昇時の宮城県の天気図(2023年1月15日)

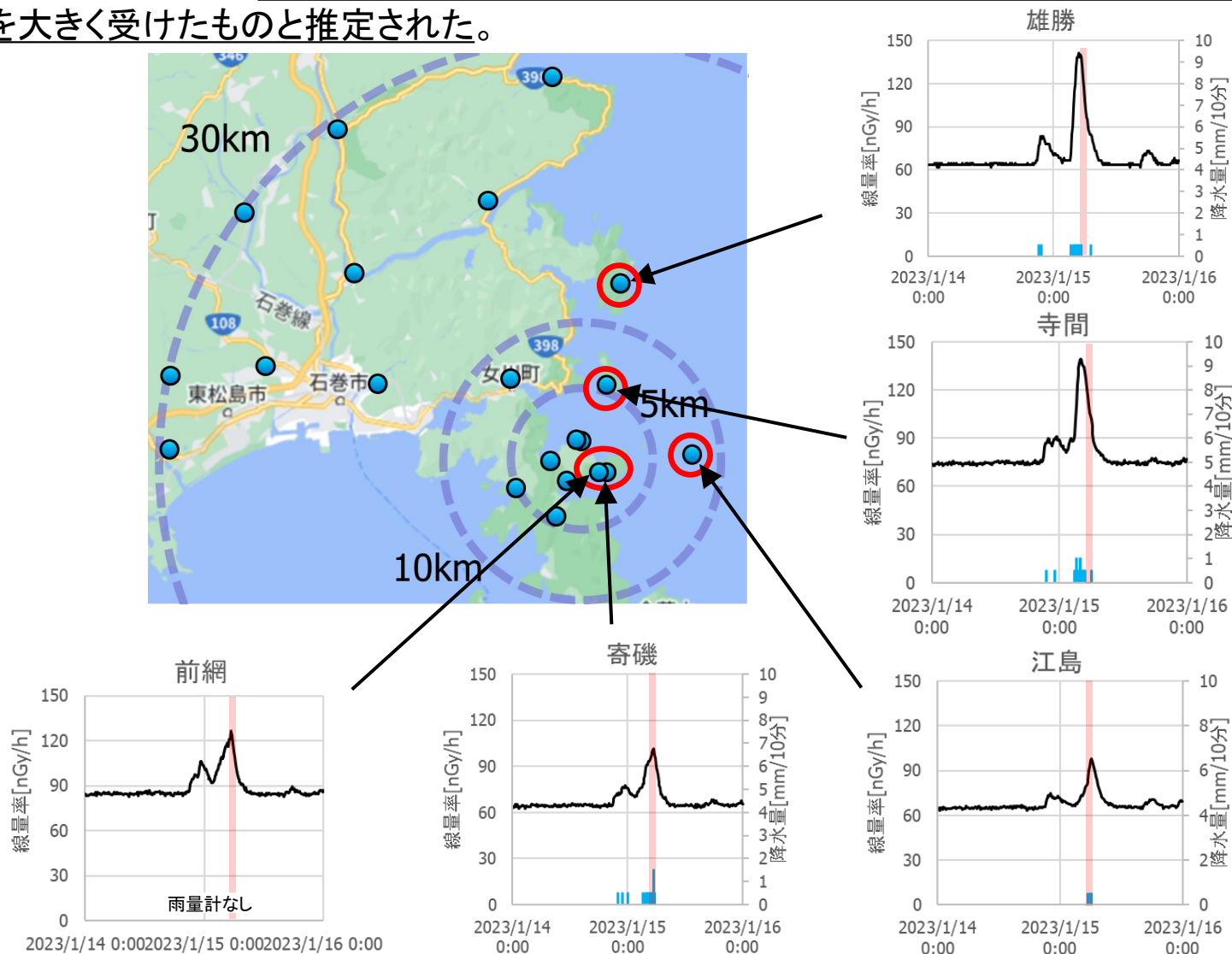
- ▶ モニタリングステーション寺間局, 前網局で線量率が大きく上昇した2023年1月15日の5:00~6:00では, 宮城県内においては牡鹿半島付近で降水が観測されていた。



出典: 日本気象協会ホームページ(一部加筆)

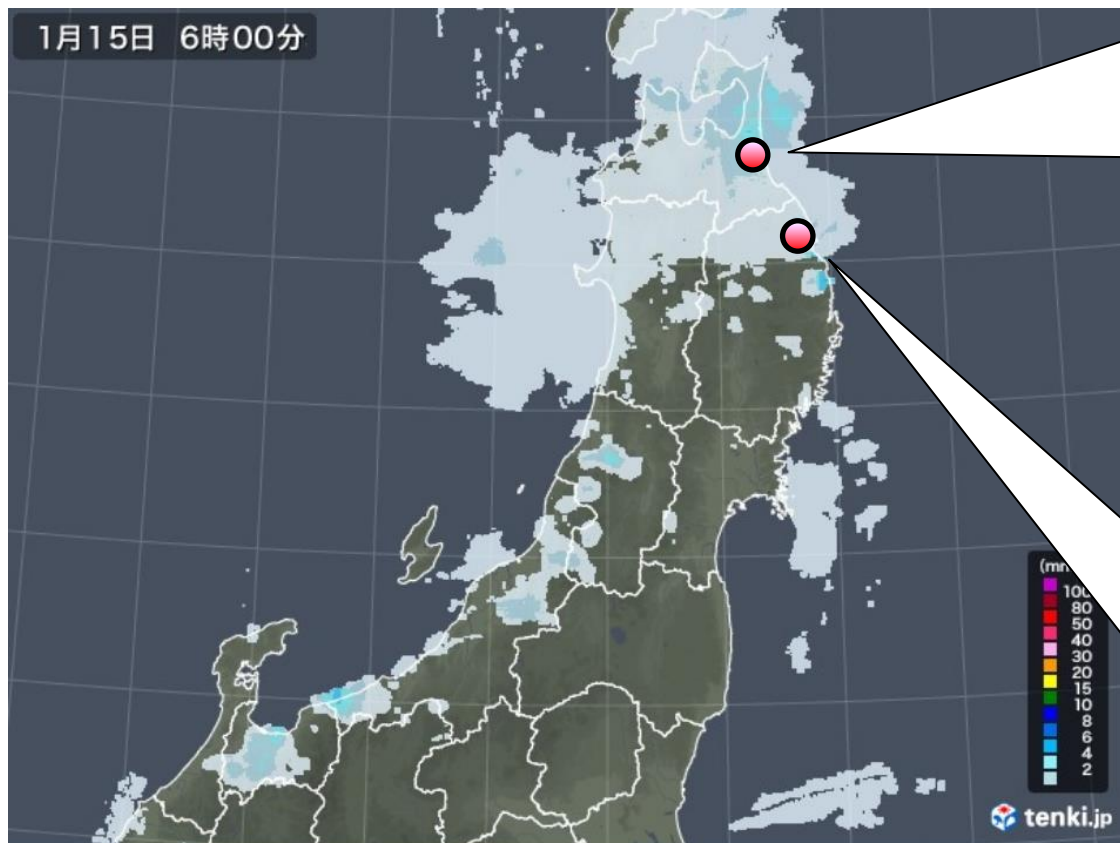
降水により線量率が大きく上昇した モニタリングステーションのトレンドグラフ

- 2023年1月15日5:00~6:00 (グラフ中赤塗) 付近に降水があったモニタリングステーションでは、線量率の上昇が見られ、特に、牡鹿半島の東側で線量率が大きく上昇していたことから、大陸性気団の影響を大きく受けたものと推定された。

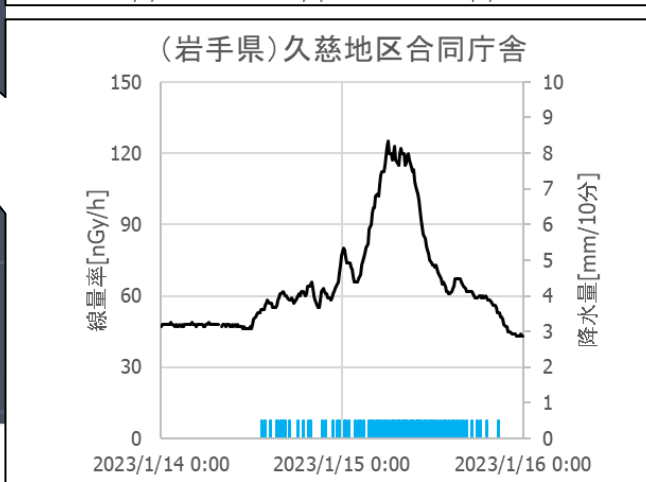
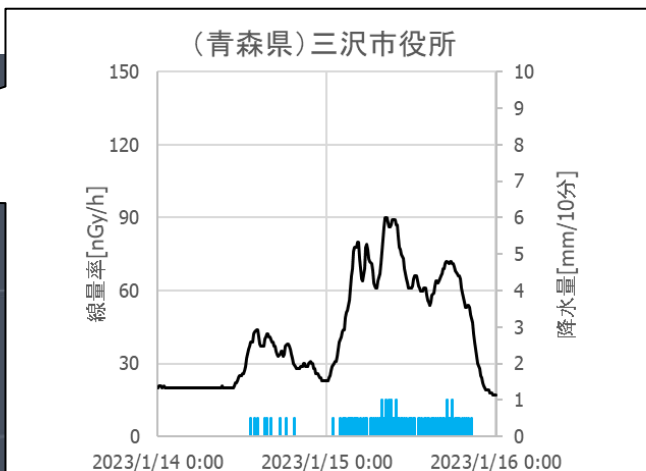


宮城県外の状況について

- 宮城県外の線量率の上昇を確認したところ、青森県三沢市や岩手県久慈市などの東北北部の太平洋側においても、降水による線量の大きな上昇が見られた。
- これより、2023年1月15日は、牡鹿半島だけではなく、青森県や岩手県なども大陸性気団の影響を受けていたものと推定された。



出典：日本気象協会ホームページ(一部加筆)

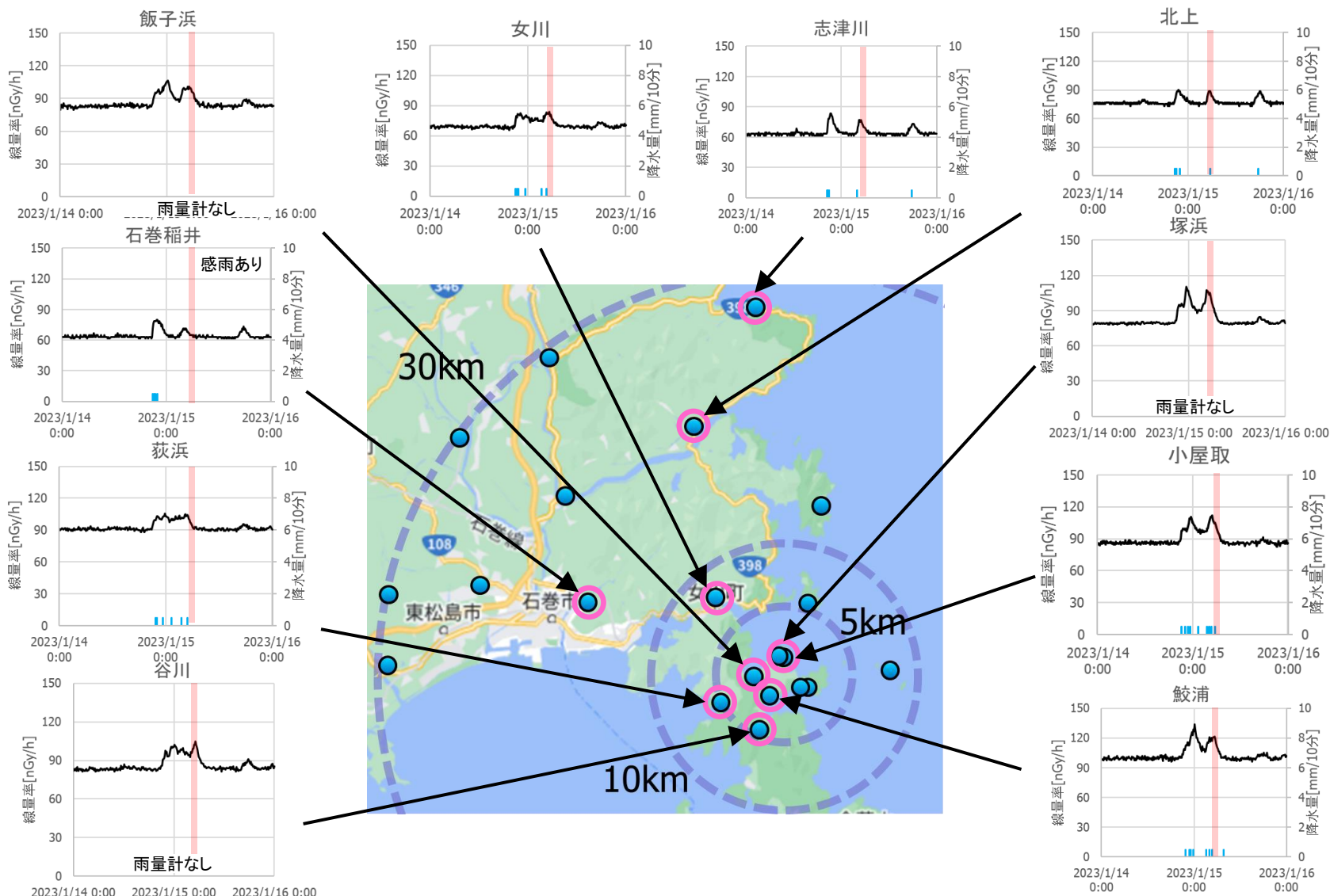


出典：(線量率)原子力規制委員会 放射線モニタリング情報共有・公表システム
(降水量)気象庁ホームページ

参考

降水により線量率が上昇した モニタリングステーションのトレンドグラフ

- 2023年1月15日5:00~6:00 (グラフ中赤塗) 付近に降水があったモニタリングステーションでは、線量率の上昇が見られた。



降水がなく線量率の上昇が見られなかった モニタリングステーションのトレンドグラフ

- 1月15日5:00~6:00（グラフ中赤塗）付近に降水がなかったモニタリングステーションでは、線量率の上昇は見られなかった。

